

読めばデータ不備＆再入稿がなくなる!? 入稿データコラム



キモン.5

オーバープリントって何?

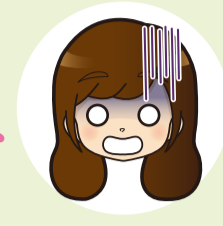
愛想良子から「ボンちゃん、オーバープリントの設定はオフにしてる?」と聞かれて困ってませんんボン!。「オーバープリント?何それ?またまた初めて聞く単語だよ〜(泣)」

本コラムの登場人物紹介



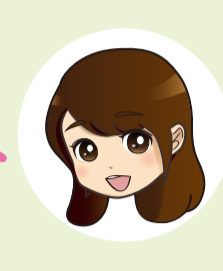
良子ちゃん、オーバープリントって一体何なのさ?! オーバーって言うくらいだから、誤ってたくさん印刷でもされちゃうの???

ポ、ボンちゃん! ちょっと落ち着きましょうね! オーバープリントのことは、ちゃんと説明してあげるから!!!!



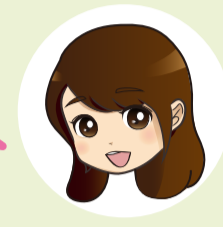
えー、それを早く言ってよね!...で、オーバープリントって何?何?何???

(もうっ、落ち着きのない子ね...)
コボン、オーバープリントは色を重ねて印刷することを指すのよ。色の上に色が重ねられ、背面の色と前面の色が混ざり合って印刷されるため、間違えて設定してしまうと意図しない印刷結果になることもあるので、要注意の機能なの!



えっ、そうだったんだ?! なんだか厄介そうな話だね〜!!!

大丈夫よ、ちゃんと確認と対処方法があるから、まずはオーバープリントがどういうものか知って、その対処方法をしっかり覚えてね!



※Adobe Illustratorでの作業になります。

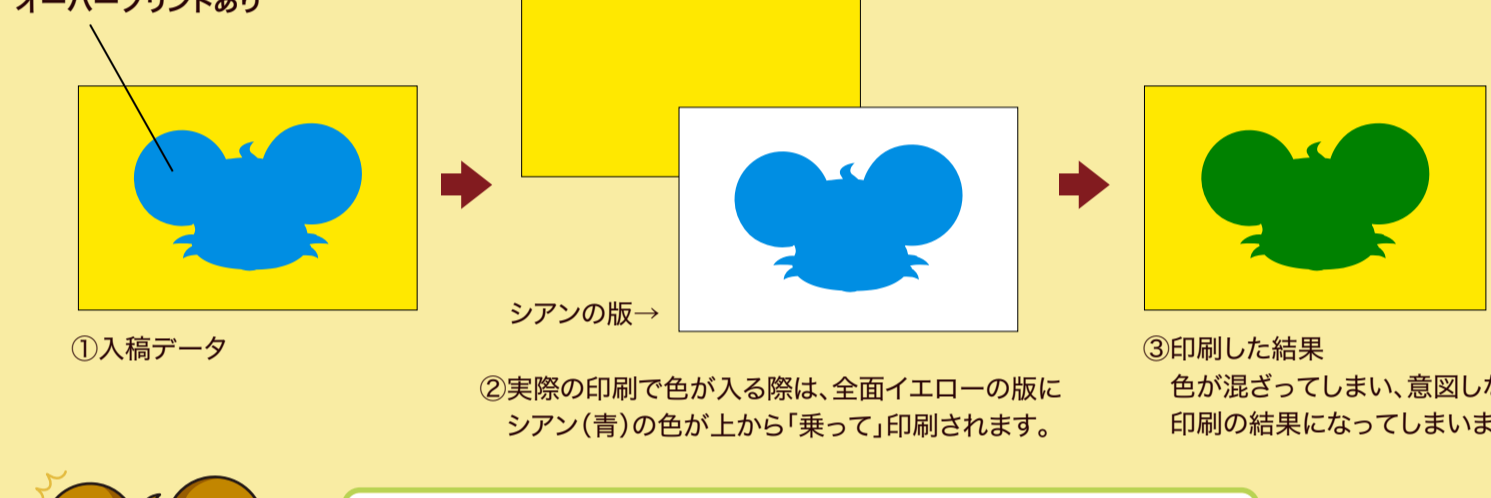
通常のデータ(オーバープリントなし)の場合

印刷では、データで指定した範囲を指定した色(CMYK)で版ごとにインクが塗られていきます。※白は白色のインクを塗るのではなく、その範囲のインクを塗らない(用紙の地色を見せる)ことで表現します。



オーバープリントが適用された場合

上記と違い、指定した範囲ごとに塗られるのではなく、色が重なり合う部分は色を重ねて印刷されます。そのため、色同士が混ざり合っ、デザイナーが意図しない印刷結果になってしまいます。



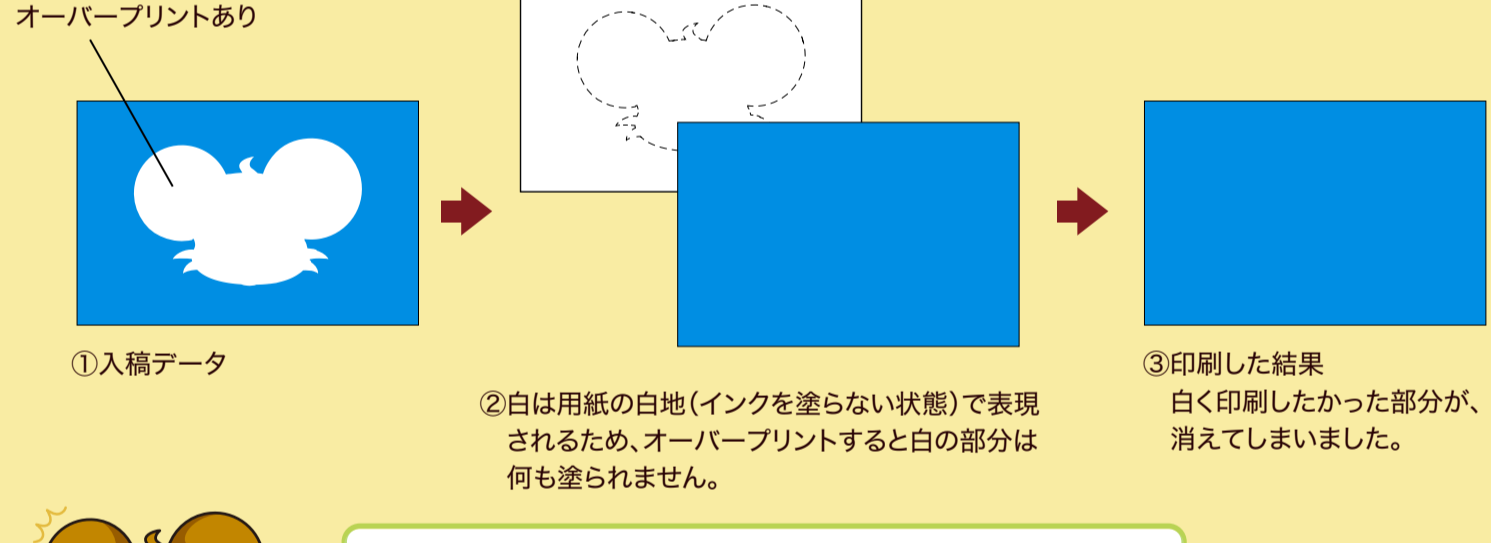
オーバープリントが適用されると、全然違う色になっちゃうんだね〜!

「上からインクを乗せる=色が混ざる」というイメージね! 偶然設定されることもあるので、よく注意が必要よ!



白いオブジェクトにオーバープリントが適用された場合

白は、白色のインクを塗るのではなく、インクを塗らない(用紙の地色)ことで表現します。そのため、白にオーバープリントを設定すると重なり合う白色の部分は「印刷をしない(インクを塗らない)」という処理がされて、本当は白く仕上げたかった部分が消えてしまいます。



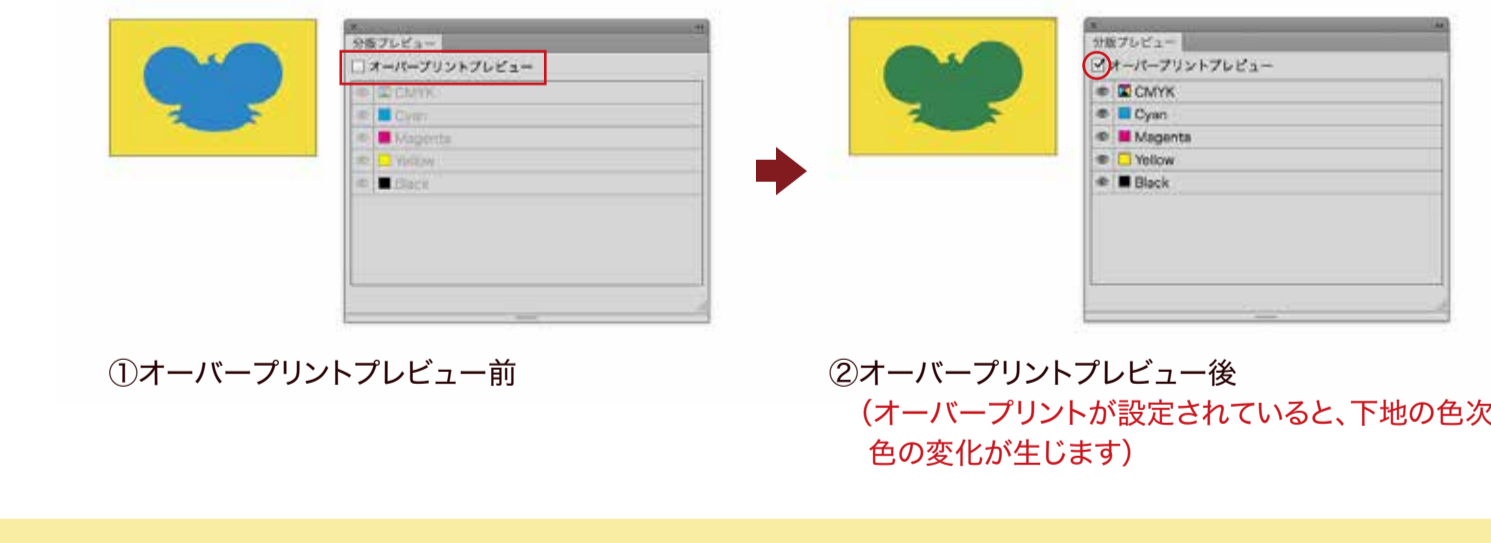
あるはずの白が消えちゃったよ〜! ゾツとする印刷結果だね〜!

白いオブジェクトは特に要注意なの! いよいよ次からはオーバープリントの確認と解除方法を説明するわね!

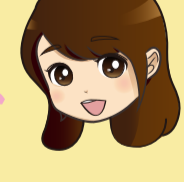


オーバープリントの確認方法

Illustratorの「ウィンドウ」→「分版プレビュー」ウィンドウを表示させ、「オーバープリントプレビュー」の箇所にチェックを入れます。オーバープリントの結果が画面に表示されますのでご確認ください。

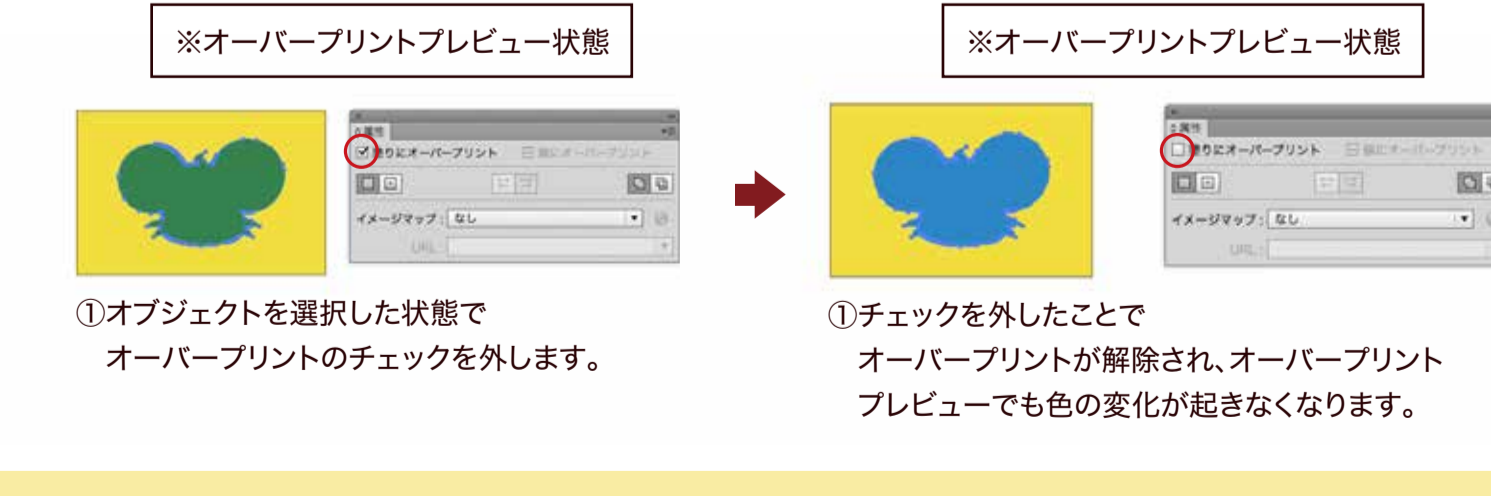


実際のデータはもっと大きくて複雑な場合もありますので、□のチェックを入れたり外したりして、データ内の色の変化がないかを何度か確認してみてください!



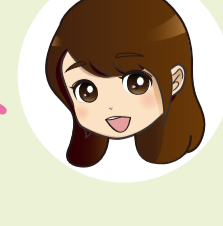
オーバープリントの解除方法

オーバープリントのかかっているオブジェクトを選択し、[ウィンドウ]→[属性]のタブにあるオーバープリントの項目のチェックを外せばOKです。最後にもう一度、オーバープリントプレビューで色に変化が起きないか確認してください。



これで大丈夫なんだね! 僕もこれから注意してオーバープリントを確認しま〜!

オーバープリントは無意識の間にデータに混入することもあるので、データ入稿前に確認の癖をつけた方がいいと思うわ。



! 宣伝館ではデータチェックでオーバープリントの確認作業を行っておりますが、入稿前にお客様ご自身で入稿データのオーバープリントのご確認をお願いしております。当コラムを参考にしてください。

